

～障がいのある人が整体とアロマテラピーを仕事にするための補足資料として～

3月18日 有識者会議議事録

参加者

セナ整体院 院長 平岡博次（総合司会及びクラウドファンディング実行者）

ビッグハート맘整体院 院長 山本しのぶ

ユーカリの花 代表 村本伸子

NPO法人日本きぎょうコミュニティ 理事 植野匡英

起業家サークル来夢 代表 中尾吉宏

※当議事録は個人情報やプライバシーへの配慮のため、話中の個人が特定されないように匿名の使用及び、話の核心に影響をしない、個人の特性についての話はぼかしております。

会場

NPO法人日本きぎょうコミュニティ オフィス内会議場

午後5時50分～午後7時35分（会議予定時間90分）

議事録（敬称略）

予定時間10分前に全員集合

平岡

今夜は当会議の開催にあたりまして、まず最初にクラウドファンディングにて費用の応援をしてくださった方々への感謝をいたしますと共に、本日お集りいただきました各界の皆様へ、心より御礼を申し上げます。

開催予定の時間より少し早いですが皆様に集まっていただきましたことから、ただいまより開会といたします。

本日の会議に先立ちまして会議内で出てくる用語について、参考になる資料の配布と共に用語の説明をします。

「就労移行支援事業」「就労継続支援A型」「就労継続支援B型」「発達障がいと」「身体障がいとは」「精神障がいとは」について説明。

「就労継続支援A型」「就労継続支援B型」については、今回の企画のずっと先の話で、今の自分がすぐにできるものではないが、こういう仕組みとの連携もあり得るの事なので一応の説明をしました。

山本しのぶ

平岡院長の説明中に出てきたうつ病の話に対して、最近みられる「新型うつ」についての解説をします・・・しました。

中尾

有識者会議を経て将来的に開設を目指していく仕事をするための勉強の場に関して、この勉強の場は特定の障がいの方がターゲットなのか、それとも（あらゆる障害のある人の中からの）希望する人たちを受けて入れていくのですか？

平岡

今回の企画は自分自身の息子が該当をして、自分としても色々と知識のある「発達障がい」の人に対して、まずは開始をして、その開設とその事業の安定の後に、他の障がいの方々にも参加していただけるように、力強く発展をさせていくつもりです。

村本

同様の障がいの名称であっても、個別の障がいに関しては軽い重い、そしてグレーゾーンなどもあると思いますが、発達障がいのあるすべての方々を受け入れるつもりですか？

平岡

まずは当方としてもノウハウを蓄積するまでは、自分たちで責任を持って進められる範囲からのスタートになるので、自分自身がノウハウを持っている軽度の発達障がいの方々の学ぶ場、そして仕事につなげる場としていきたいです。

まずは発達障がいの人の特性や、彼らに対しての自分が考えている指導の方法などを話します→説明。

※以下に登場するAくん（男）Bさん（女）は平岡が直接施設におもむき、彼らに整体をしようとしたところ、A君は整体を受けたがBさんは施術者が男性という事で体を触られるのが怖くて受けられなかったが、当日平岡と共に参加していたハンドマッサージの女性施術者の施術は喜んで受けていました。

平岡

山本院長・村本代表に伺いますが、今お話をしたAくんとBさんに関しては、それぞれ整体とアロマセラピーの仕事は可能でしょうか？

山本

Aくんは可能ではあるが、接客・接遇面での課題に関して言及

Bさんは、男性に体を触られるのが苦手ではあるが、男性の身体を触ることに恐怖を覚えないのであれば、条件はAくんと同じだと考えます。

村本

Aくんに対してもBさんに対しても山本院長と同様の懸念はあるが、Bさんに関しては、アロマセラピーの主なお客様は女性なことから、女性向けの施術家としていくことで対応は可能だと思います。

平岡

確かに、お二方のおっしゃるように特性の面で、彼らは接客や接遇に関してはかなり苦手な部分はあります。なので、接客を必要としない、彼らが見知った、慣れている人たちの施術をターゲットにする等を目指していくのが特性面ではマッチするのかもしれないと思いました。

中尾

具体的に彼らが給料を取れる方法としては、どのような職業に付けばいいのか、アイデアはあるのでしょうか？

植野

実際問題として、施術家としてサロンなどに勤めた場合に担う仕事はどのようなモノでしょうか？

村本

これは整体のサロンの業務ででも共通することが多いので、私から植野さんのご質問にお答えいたします。

まずは、自分の施術の広報・集客

お客様からの問い合わせに対する応答

お客様が来られる前のサロンでの準備（掃除・洗濯・ベッドメイク・施術器具の選択とセットアップ等）

来客されるお客様の接遇（お出迎え・お茶やおしぼり・お身体の状態を聞くこと・その身体の状態に応じた施術方

針の説明・着替えの用意等)

施術（整体又はアロマの施術・施術中の身体の様子の説明と、身体の状態に応じた施術の選択や、事前説明時から施術の変更があるときの説明等)

施術後（アロマ使用時のふき取り用の蒸しタオルなどの用意・着替えの用意)

帰られるお客様に対しての接遇（おしぼりやお茶・施術の説明・身体の状態と課題の説明・次回の施術の案内・次回予約の確認・送り出し)

と、簡単に話すという感じになります。

平岡

村本代表の説明の中で感じたのは、発達障がいの方は特に接遇面を苦手とする場合が多いと思いますので、彼らが向いている職業としては、施術だけの部分をクローズアップして、そのことで喜んでいただける方々がおられる場所がよいと思いました。

例えばですが、今さっと頭に浮かぶものであれば、それなりの規模の会社の総務部などに就職をして、福利厚生の一環として、社員の身体へのケアのサポートを担えたらいいのかなと思いました。

また、彼らがどのように施術の方法を習得していて、それがどんなレベルかを会社の方や本人にとっても一目瞭然な資格のような、他の方に見せられるものがあればいいのかなと思いました。

障がいのある人たちも、資格の制度があれば、さらに上を目指すために頑張る目標もできて、やりがいに繋がることでしょう。

植野

その資格というのは、誰がどのように認定するものであるのか？

平岡

現在、資格というのは国家による資格以外に公共の団体や任意団体などによる独自の資格、民間資格などもありますので、自分が中心となってその道のプロの方々に力を借りながら協会等を作り、そこで資格に対しての基準を設置して付与していくことも考えています。

中尾

その協会を作って、民間資格を作っていくことに関して、自分は多少の知恵もあるので協力していきます。

植野

私もNPO法人の理事として、そうした活動は積極的に応援をしていくので、ぜひ相談と提案をしてほしい。

山本

資格に関しての認定で階級を付ける場合などは、私は整体のプロとして色々と意見や提案ができるので協力をします。

村本

こと、アロマに関してはずっと研究をして、自らもいくつもの資格を有しているので、自身が経てきた道のりを機会を作って平岡院長にお話をしますので、そこの中から模倣できることはして進めていってほしいです。

平岡

皆さまの知恵をお借りすることで、障がいのある方（当初は軽度の発達障がいの方からになりますが）達の仕事を作っていきたいですし、そのための方法として協会を作ったり資格を作ることも含めて、まずはそれらを実行してい

くための勉強の場を作りたいと考えていますのでどうか、これからもご協力をお願いします。

まずは、（私や障がいのある人たちが）具体的に色々とチャレンジをする場として、自分としては半年に一度、年に二度の割合で自社を活用しての「職業訓練の日」を作ることとします。

山本
平岡院長がそのような場を作られるのであれば、私のサロンでも年に二度の職業体験の場を提供します。

村本
山本院長と同じで、私のサロンでも同様の頻度で職業体験の場を提供します。

平岡
合計で年に六度、二カ月に一度の職業体験の場ができると、多くの人に可能性をチャレンジしていただけます。ありがとうございます。

中尾
ところで、職業体験の場は有料になるのですか？

平岡
有料・無料に関しては使う機材によって経費も変わってきますので、今は言及できませんし
自社としてやる場合と、他の組織（他団体や公共の場、学校など）からお願いされることもあるので、これに関しては臨機応変に対応しますので、どうぞ皆さま、その都度でお知恵を貸してくださいませ。

植野
当NPO法人の活動は「企業と起業」の応援がその目的であり、今回の話はその活動の中の「仕事」の応援になりますので、職業体験や（将来的な）職業訓練に関しても広報・運営その他のお手伝いもします。

平岡
そろそろ会議のために取った時間も過ぎてまいりましたので、今回の話を踏まえて、これからの事を有識者会議のレポートにまとめます（付帯資料として議事録も作ります）のでよろしくをお願いします。

なお、すべて資料の作成後のご確認と、今回のことで作られる報告書は皆さま全員にご確認を頂いたのち、レディフォー様・支援者様・応援をしてくださった方々及びすべての皆さまに開示する予定でございます。

本日はご多忙な中をお運びいただきましてありがとうございました。
今回が始まりとなり、必ず形として、障がいのある方々がお客様から「ありがとう」と言われる仕事を作っていくことを約束して、会議を終えます。

クラウドファンディング実行者・セナ整体院
平岡博次

